



利用者と職員で育てています

恵みを数える

施設長 小川内秀樹

聖歌の中に、♪数えよ主の恵み。数えよ主の恵み。数えよ、ひとづつ♪数えてみよ、主の恵み。という節があります。単純な詩の中に、ある時には、心に惹かれ、勇気を立たせる。これでいいんだと思わせるような説得力が全身を貫くのを感ずる時があります。

そんな時には、緊張の中、気づかない内に溜め込んでしまっている思い煩いや葛藤が存在しているのではないのでしょうか。

最近 思いがけない所で目にした、鉛筆書きのタンポポの絵がありました。綿毛が、空に舞って行く瞬間を切り取った場面でありながら、ゆっくり時間を再生させたような空気の。種子のついた綿毛の一本一本さえ描かれた、丁寧なモノクロの原画でした。私の足を止め、時が止まったようにも感じました。こんなにも、花を見つめて描く、画家の心を感じました。

今、私は、神様の恵みを、このように丁寧に見つけているのだろうか。望みに気づかない時にこそ、恵みを見つめる丁寧な目を与えられたと思います。

四月のボランティアと美習生

白馬とみ子様、牧野和子様、山田千恵様、佐藤ゆう子様  
風見とみ子様、白馬たか子様、山田国昭様、矢花光様  
協力牧師の方々  
いつも楽しい働き、ありがとうございます。



(NO.358)  
特別養護老人ホーム  
筑波キングス・ガーデン  
0297(24)5139



飯田しげ乃様

飯田克己様 長男

私達の母しげ乃は旧北相馬郡菅生村に、農業兼醤油醸造業の岡田家の長女として、大正十二年五月四日生まれ、忙しい父にかわり幼い頃から大人と一緒に村の色々な仕事を手伝っていました。昭和二十一年十二月に縁があつて旧結城郡豊岡村の飯田家の長男に嫁ぎ、私達二男一女を授かり農業をしながら三人の子供を育てました。昭和三十六年六月に夫が亡くなり、夫の死後は大変な苦労だったと思います。

知人の紹介で社協の家庭奉仕員となり、独居老人の世話をし、定年後厚生病院の看護助手として勤務してまいりました。退職後、ガイドヘルパーになり九州、沖縄を除いて日本各地を訪問し、また多くの人との出会いがあり、海外旅行にもカナダやイギリスなど七ヶ国も行きました。好きな花々を押し花で作ったりしていました。

関東大震災、大東亜戦争、東日本大震災と激動の時代を生きた「じげ乃」に送ります。

小さな汀アームより

ヘルパー 小林しおり

折りの部屋の前に植木鉢を一つ置かせて頂くようになって二年になるでしようか。お庭に並んでいる植木鉢たち。それぞれの季節が来ると、素晴らしい表情を見せてくれますので、四季折々に紹介しております。花も美しい豆や、赤い実をつけるトマトや唐辛子。花たちも高価なものではありませんが、親しみを感ずられて人それぞれ思い出と重なる様なのでもあったらいいなと思っております。是非リクエストお寄せください。



いちご育てました!

新規採用 ヘルパー紹介



笑顔と元気で頑張ります。宜しくお願いします。

憩いの汀 塚越珠美

合同運動会

日時

五月二十二日(火)  
九時半〜十二時四十五分

場所

ふれあいロータリー

プログラム

仮装大会  
お菓子取り競争  
大玉ころがし  
応援合戦  
紅白対抗リレー 等

昨年の運動会



ご家族様の参加、お待ちしております

新緑が深まり少しずつ暖かい日が増えてきました。一日一日を元気に過ごしましょう。

ヘルパー 濱田 藤井

相談員日誌

野田 望

体調を崩し、自宅で休んでいた時のことです。小学校から帰ってきた息子がドアを叩いてを鳴らしました。私が玄関を開けると、ニコニコと笑顔で、手を後ろに回して何かを隠しています。次の瞬間、タンポポが上がる。「元気な声で私の目の前に、今にも風に飛び立ちそうな、フワフワのタンポポを差し出しました。とても嬉しい気持ちも同時に湧き上がってきました。

「ありがどうね。」私は汗びっしょりの息子の顔を撫でて涙がこぼれそうになりました。さりげない言葉や行いが、誰かの活力や喜びを生み出すのだと息子から教わった思い出。私も父として、また一人のヘルパーとして、そうありたいと思えました。



あなたは、私の助け、私を救う方。

詩篇七十編五節

星野富弘 詩画展

ヘルパー 梶倉節代

五月の始めの雨上がりの日に入居者のU様と、星野富弘詩画展」で販売されている書籍を購入する為に、百メートル程の散歩道を心地良い風にゆられ、ゆつくりと歩道の木へ」と向かいました。

前回は、一つ一つの絵を見るだけで、時間が経ってしまったので、今回は詩画集の購入を希望されました。たくさんの中から一冊を決めると、群馬には行かないけど、ここで開催されて本当に幸せ!と少し興奮気味に喜ばれていました。

私もU様と共にゆつくりと館内を回り、ビデオを拝見し、書籍を選んでいく内に、多くの事を学ばせていただく事が出来ました。

五月十四日までの開催ですが、多くご利用者や地域の方々に見学に来ていただける様、願っています。



ボランティアコンサート

五月の誕生者	誕生月	年齢
高尾竹彦様	昭和十四年	七十九歳
飯田しげ乃様	大正十二年	九十五歳
佐々木好子様	昭和五年	八十八歳
石塚昭子様	昭和二年	九十二歳
小口文子様	大正十五年	九十一歳
大平つた様	昭和二年	九十一歳
渡邊さくら様	昭和四年	八十九歳
星野さとし様	昭和十七年	七十四歳
磯崎志夫様	昭和十年	八十三歳

四月十日から始まった星野富弘 花の詩画展も残り所あと一週間、日に来場者が増して行くのには驚かすばかりで、星野さんの絵と詩の言葉に多くの方が感動し、ビデオを見ながら涙する方も見られます。アンケートの言葉は勇気と感謝の言葉が多くあり、あらためて星野富弘さんの心と「一言が多くなる人の心に響き、生きる勇気になっていきます。おははボランティアによるミニコンサートも大好評で、コンサートの当日は百人を超す来場者で中庭一杯になります。小鳥の音と共に自然の中の音楽に来場者も笑顔があふれています。今回、来場者にコピーとキーが用意されているので、地域交流カフェ「おどろの木」は長き交りの場所にもなっています。頑張ってくださいませ。ご利用者さんやヘルパーさん、ご利用者さんに感謝です。五月十四日まで一週間、多くのボランティアさんに支えられていることに感謝し、最後まで利用者や地域の皆様と輝き合いたいと思います。主に感謝しつつ...

星野富弘 花の詩画展に千人以上の方が来場!

理事長兼総合施設長 宇都宮和子